

平成30年度 全国学力・学習状況調査 結果と対策

会津若松市

1 全国学力調査の結果（校種・検査項目ごとの平均正答率の数値から）

（1）小学校の結果

国語A・B、算数A・B、理科すべてにおいて全国平均をやや上回る。

- 国語A問題（主として知識）は全国平均をやや上回る。
 - ・ 領域別では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均をやや上回るが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は全国平均をやや下回る。
 - ・ 漢字を文の中で正しく使うことについてはできている。
 - ・ 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。
 - ・ 相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題がある。
- 国語B問題（主として活用）は全国平均をやや上回る。
 - ・ 領域別では、出題されたすべての領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）で全国平均をやや上回る。
- 算数A問題（主として知識）は全国平均をやや上回る。
 - ・ 領域別では、「量と測定」「数量関係」は全国平均を上回り、「数と計算」「図形」は全国平均をやや上回る。
 - ・ 直径の長さと同周の長さの関係について理解することはできている。
 - ・ 180° や 360° を基に分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることはできている。
 - ・ 円周率の意味について理解することに課題がある。
 - ・ 除法で表すことができる二つの数量の関係を理解することに課題がある。
- 算数B問題（主として活用）は全国平均をやや上回る。
 - ・ 領域別では、「図形」は全国平均を上回り、「数と計算」「量と測定」は全国平均とほぼ同じである。「数量関係」は全国平均をやや下回る。「量と測定」においては、昨年度より大きく改善傾向にある。
 - ・ 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことはできている。
 - ・ メモの情報と棒グラフを組み合わせたグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述することはできている。
 - ・ 一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することに課題がある。
 - ・ 表を用いた考え方を解釈し、複数の場合に適用して、条件に合う事柄について、適切に判断することに課題がある。
- 理科は全国平均をやや上回る。
 - ・ 主として「知識」に関する問題は全国平均を上回り、「活用」に関する問題は全国平均を

やや上回る。

- ・ 区分別では、「生命」は全国平均を上回り、「エネルギー」は全国平均をやや上回る。「物質」「地球」は全国平均をやや下回る。
- ・ 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解することはできている。
- ・ 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用することはできている。
- ・ 適切な実験技能の理解として、ろ過の適切な操作技能の定着に課題がある。

(2) 中学校の結果

国語A・B、数学A・B、理科すべてにおいて全国平均を下回る。

- 国語A問題（主として知識）は全国平均を下回る。
 - ・ 領域別では、すべての領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」）で全国平均を下回る。
 - ・ 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題がある。
 - ・ 伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことに課題がある。
- 国語B問題（主として活用）は全国平均を下回る。
 - ・ 領域別では、「話すこと・聞くこと」は全国平均をやや下回り、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均を下回る。
 - ・ 全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことはできている。
 - ・ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することに課題がある。
 - ・ 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てることに課題がある。
- 数学A問題（主として知識）は全国平均を下回る。
 - ・ 領域別では、すべての領域（「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」）で全国平均を下回る。ただし、「数と式」においては、昨年度より大きく改善傾向にある。しかし、「関数」と「資料の活用」が課題である。
 - ・ 絶対値の意味を理解することはできている。
 - ・ 座標平面上に点の位置を示すことに課題がある。
 - ・ 最頻値は、資料の中で、最も多く出てくる値であることを理解することに課題がある。
- 数学B問題（主として活用）は全国平均を下回る。
 - ・ 領域別では、すべての領域（「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」）で全国平均を下回る。特に、「図形」と「資料の活用」が課題である。
 - ・ 証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たな性質を見いだすことが課題である。
 - ・ 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することが課題である。
- 理科は全国平均を下回る。
 - ・ 主として「知識」に関する問題、「活用」に関する問題ともに全国平均を下回る。
 - ・ 分野別では、「生物的領域」は全国平均をやや下回るが、「物理的領域」「化学的領域」「地学的領域」は全国平均を下回る。
 - ・ 特定の質量パーセント濃度における水溶液の溶質の質量と水の質量を求めることはできている。

- ・ 神経系の働きについてはできている。
- ・ 太平洋高気圧（小笠原気団）の特徴を理解することに課題がある。
- ・ アルミニウムの原子の記号の表し方を理解することに課題がある。

**（３）会津若松市学力向上推進計画における学力を評価する指標に対する今年度の状況
（全国平均１００）**

- 小学校： 101.1 （H30年度指標 99.6）
- 中学校： 94.5 （H30年度指標 96.2）

２ 児童生徒質問紙の結果

（１）小学校の特徴

【全国平均を上回る主な項目】

- 家で、学校の授業の予習・復習をする。
- 家で、教科書を使いながら学習する。
- 理科の授業で、観察や実験の進め方が間違っていないかを振り返って考えている。
- 平日、授業以外に1時間以上勉強する。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。

【全国平均を下回る主な項目】

- 平日、授業以外に30分以上読書する。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校のできごとについて話をする。

【昨年度より肯定的な回答の割合が増加した項目】

- 家で、学校の授業の予習・復習をする。
- 自分には、よいところがある。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。
- 算数の授業の内容がよく分かる。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校のできごとについて話をする。

（２）中学校の特徴

【全国平均を上回る主な項目】

- 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- 理科の勉強は好き。

【全国平均を下回る主な項目】

- 数学の授業の内容がよく分かる。
- 家で、学校の宿題をしている。
- 平日、授業以外に30分以上読書する。
- 自分にはよいところがある。
- 家で、自分で計画を立てて勉強している。

【昨年度より肯定的な回答の割合が増加した項目】

- 自分にはよいところがある。
- 家で、学校の予習・復習をしている。

- 平日、授業以外に30分以上読書する。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。

3 学校質問紙の結果

(1) 小学校の特徴

【全国平均を上回る主な項目】

- 近隣の中学校と、授業研究を行うなど合同の研修を行った。
- 算数の指導として、発展的な学習を行った。
- 理科の指導として、補充的な学習を行った。

【全国平均を下回る主な項目】

- ボランティア等による授業サポートを行った。

(2) 中学校の特徴

【全国平均を上回る主な項目】

- 近隣の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った。
- 理科の指導として、家庭学習の課題を与えた。

【全国平均を下回る主な項目】

- 理科の指導として、長期休業中に自由研究などの家庭学習を与えた。
- 地域の人材を外部講師として招聘した授業を行った。

4 学力向上の対策

(1) あいづっこ学力向上推進事業アクションプランにおいて実施している主な取組

- 電子黒板やデジタル教材等ICTの活用を図った授業を推進し、学習への関心や意欲を高め、積極的な学習態度を育てるとともに、学習内容の理解を深め、学力の定着を図ります。
- 読解力向上の手立てとして、NIEへの取組を充実させるとともに、地域や社会で起こっている問題や学校図書館等の資料を積極的に活用します。
- 学校教育指導委員による先進地視察や学校代表による市内研究公開への参加を通して、指導力の向上を図ります。
- 振り返りの時間を活用する等、授業との連続性を重視した家庭学習とし、各校の「家庭学習の手引き」をもとに家庭学習の習慣を身につけさせ、学習時間を確保します。
- 基礎的・基本的内容の一層の定着や思考力、判断力、表現力等を含む活用する力の向上のために、県教育委員会作成の「定着確認シート」や「活用力育成シート」を積極的に活用します。
- 児童生徒の確かな学力の向上を図る基盤をつくるため、hyper-QUを効果的に活用し、校内研修を充実します。

(2) 各学校への支援

- 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果分析により成果や課題を明確にし、学校全体で共通理解を図るとともに、具体的な対策や指導計画の改善に向けた指導助言を行います。
- 会津教育事務所との連携を図り、指導主事の学校訪問を通し、授業改善や各学校の課題解決に向けた指導助言を行います。